

⑩道川 長七が丘古墳（高陽台遺跡）

ニヶ城山から北西への丘陵の尾根に沿って開発された矢口が丘団地内に A 群・B 群（竪穴式墳丘墓・住居跡）・C 群（貝塚）の遺跡があり、この古墳は B 群の竪穴式石室（*）一基を復元保存したもので、場所の地名からこのように名づけられた。大きな山石使用が特徴。



(*)竪穴式石室／長方形の穴を掘り、粘土で床をつくり、遺体を収めた木棺をすえ、周りに石を積み上げて天井を覆った墓。